

(1) 実施機関名：

(独) 産業技術総合研究所

(2) 研究課題 (または観測項目) 名：

地球観測衛星による火山観測の研究

(3) 最も関連の深い建議の項目：

1. 地震・火山現象予測のための観測研究の推進

(1) 地震・火山現象のモニタリングシステムの高度化

ア．日本列島域

(4) その他関連する建議の項目：

3. 新たな観測技術の開発

(2) 宇宙技術等の利用の高度化

ア．宇宙測地技術

イ．リモートセンシング技術

(5) 本課題の 5 か年の到達目標：

今後とも定常的に、地球観測衛星をもちいた火山観測計画を立案し、観測を依頼する。観測画像は Web ベースの火山衛星画像データベースとして公開する。地球観測衛星を用いて、火山活動に伴う火山噴出物、噴煙、変色海水、温度異常、地殻変動などを観測し、火山災害の低減を図るとともに、火山噴火過程の解明に役立てる。

(6) 本課題の 5 か年計画の概要：

ASTER および PALSAR を用いた火山観測計画を立案し、観測を依頼する。また、ASTER 以外の衛星画像についてもデータベース化の可能性について検討する。定常的な観測に加えて、噴火の危険がある場合や噴火中には、衛星による緊急観測を依頼し、速やかに画像解析を実施しその結果を公表する。

(7) 平成 22 年度成果の概要：

インドネシア シナブン火山、メラピ火山、新燃岳について ASTER を用いた緊急火山観測計画を立案し、観測を依頼した。火山衛星画像データベースについては、トップページを地質調査総合センター準拠に修正しバージョン 2.3 とし、コンテンツを仮サーバから本サーバに移して正式運用を再開した。2010 年に新たに追加したシーンは約 19,000 シーンで、全登録シーンは 122,000 シーンとなった。

(8) 平成 22 年度の成果に関連の深いもので、平成 22 年度に公表された主な成果物 (論文・報告書等)：

(9) 平成 23 年度実施計画の概要：

ASTER および PALSAR を用いた火山観測計画を立案し、観測を依頼する。また、ASTER 以外の衛星画像についてもデータベース化の可能性について検討する。定常的な観測に加えて、噴火の危険

がある場合や噴火中には、衛星による緊急観測を依頼し、速やかに画像解析を実施しその結果を公表する。

(10) 実施機関の参加者氏名または部署等名 :

地質情報研究部門、情報技術研究部門

他機関との共同研究の有無 : 無

(11) 公開時にホームページに掲載する問い合わせ先

部署等名 : 産業技術総合研究所 地質情報研究部門

電話 :

e-mail :

URL : <http://unit.aist.go.jp/igg/ci/>